

新年のご挨拶

鹿児島市医師会 会長 上ノ町 仁



新年明けましておめでとうございます。

先生方におかれましては、ご家族をはじめ職員の皆様とともに、清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、我々を取り巻く医療環境は厳しさを増すばかりの1年でありました。昨今の急激な物価高騰や賃金上昇などにより、現在もなお、多くの医療施設がこれまでに経験したことのない非常に厳しい経営状況に陥っております。

そのような中において、我々には守るべき3つの柱があると考えております。1つ目は「患者さん」、2つ目は「職員」、3つ目は「我々の医療機関」です。そして、それを担保するのが診療報酬です。高市首相は昨年11月の予算委員会の中で、「過去2年分ぐらいの状況を見ながら、賃上げや物価高を適切に反映させることを考えている」と明言されました。今年の診療報酬改定では、これまでの物価高騰や賃金上昇の増加分以上を加算していただくとともに、物価、賃金の上昇に応じて適切に対応する仕組みを導入いただき、安心して地域医療に専念できることを切に願っております。

スポーツ界に目を向けますと、昨年1月のPGA ツアー初戦「ザ・セントリー」で、松山英樹選手がツアー史上最多アンダーパー記録を樹立するとともに、アジア人選手最多優勝記録を飾りました。プロボクシングでは、井上尚弥選手が9月に世界4団体統一タイトルマッチで現役最多となる通算26勝を達成

し、その圧倒的な強さを証明しました。また、34年ぶりに東京で世界陸上が開催され、その激しい熱戦に日本中が多くの感動と興奮に包まれました。さらに、11月にはロサンゼルス・ドジャースが2年連続9度目のワールドシリーズ制覇を成し遂げ、大谷翔平選手、山本由伸投手、佐々木朗希投手の日本人トリオが勝利に大きく貢献しました。今年もたくさんのアスリートのみなさんの活躍を期待せずにはおれません。

一方、自然界は、昨年8月に鹿児島県内で「線状降水帯」の発生に伴い、平年ひと月分の2倍の雨がわずか1日で降るなど、記録的な豪雨に見舞われました。さらに、同月に台風12号が突如発生し、市内では和田川が氾濫し、住宅街に大量の水が流れ込みました。住家被害だけでなく、人的被害も多数あり、未だに災害による爪痕が残る地域もございます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げますとともに、今後さらなる災害への対策強化が必要であると感じました。

さて、鹿児島市医師会に視点を移し、昨年の経過を踏まえ今年の志を語りますと、まず、地域医療の維持、発展に資することを目的に設置しております「開業・承継支援センター」の事業の一つとして、厚生労働省医政局の医療経営専門官を講師にお招きし、認定医療法人制度についてセミナーを開催いたしました。県内各郡市医師会の先生方も含め、多くの先生方のご出席を賜り、盛会のうちに終えることができました。今年も開業や医業承継、

医業経営全般に関する会員の先生方の「お困りごと」の支援をしております。

また、共同利用施設である臨床検査センターは、安定した経営に努めるとともにICT化を着実に推し進め、3S（精度・スピード・サービス）の充実に努めました。昨年度から、3Sの取り組みの一環として、患者さんとより良いコミュニケーションを図ることのできる職員の育成を目的としたWebによる医療施設ごとの接遇研修支援も実施しております。引き続き、診療支援の内容を拡大充実させ、先生方のお力となれるよう邁進いたします。

医師会病院は、冒頭で述べました昨今の物価高騰などにより、経営状況は更に厳しくなっております。12月の臨時代議員会においてご説明申し上げましたが、新たな改善策を役職員一丸となって取り組み、早急にこの厳しい状況を改善できるよう努めてまいりますので、今まで以上のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

私は、鹿児島市医師会を運営するにあたり、「会員の先生方のために、そしてその先にある患者さんや市民の健康のために」を基本理

念に掲げ、十分に「議」を交わし「和を以て貴しとなす」医師会を目指しております。本年も先生方のニーズにしっかりお応えできるよう、先生方と大いに「議」を交わし、「和」と「不断の努力」と「覚悟」をもって会員の先生方が納得のいく方向へ進めたいと思います。

今年の干支である「午年」は、馬を表しますが、馬は常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと突き進むことから、発展・成長のシンボルとされております。我々医療界にとりましても、この厳しい経営状況が改善し、地域医療が発展・成長していくことを心から願い、今年の診療報酬改定がその大きな足掛かりとなることを期待しております。

今後とも、鹿児島県医師会、各郡市医師会や関係機関としっかり連携し、先生方が安心して医療に取り組むことで地域医療を支え市民の方々の健康に寄与できるよう尽力したいと思いますので、本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

